

# アオリイカ

アオリなくして富山湾の秋は語れない。本県で漁獲されるイカでは、ヤリイカと並んで魚価が高く、定置網の重要な漁獲対象である。スルメイカやヤリイカなどとは一味違う“甘さ”と独特の“食感”から、イカの中で最も旨(うまい)という人も多い。何ととっても刺身が一番である。

若狭湾では5～6月頃が産卵期で、藻場で海藻に房状の卵塊を産み付けるが、富山湾ではこの時期には稀(まれ)で、卵塊もまだ見つかっていない。湾内の漁獲は9～12月に限られ、10～11月が盛漁期で、年間漁獲量(概ね200～300トン)のうち9割がこの2か月に漁獲される。地区別では、氷見、新湊および黒部以東で多く、湾奥部では少ない。富山湾で獲れるアオリイカは、山陰や九州など、能登半島以西海域で産まれたものと考えられる。これまで、10～11月に、富山市四方、氷見市宇波(うなみ)および石川県宇出津(うしつ)で行われた標識放流試験では、富山湾～能登半島内浦から外に出て再捕された個体はなく、ここで一生を終えるようである。(井野)

